

弘前市立博物館

ニューズレター

No. 17

Hirozaki City Museum Newsletter

■年末年始のご挨拶

12月に入り、博物館のある弘前公園もすっかり雪化粧。あたり一面が真っ白になりました。

当館では9月28日(土)から開催しておりました特別企画展2「魯山人の宇宙-魂を剥く美が欲しい-」が11月24日(日)をもって大盛況のうちに終了しました。さらに続けて、12月7日(土)からは企画展2「いのちなりけり 没後250年 建部綾足」を開催しております。皆様お忙しい時期かと存じますが、ぜひお休みの日などには当館に足をお運びいただき、ゆっくりと作品を眺めるひとときをお過ごしいただけましたら幸いです。

さて、令和6年もいよいよ残りわずかとなりました。本年中もご来館いただいた皆様、誠にありがとうございました。来年も様々な企画を開催し、多くの皆様をお迎えできるよう職員一同準備を進めているところです。令和7年も引き続き弘前市立博物館への応援をいただけましたら大変ありがたく存じます。

ますます雪も深くなり、寒くなる時期です。皆様におかれましては、お体に気を付けてよいお年をお迎えください。

(館長 熊谷)

■企画展2「いのちなりけり 没後250年 建部綾足」

皆さんは、「建部綾足」という人物をご存知でしょうか？江戸時代中期に生きた弘前出身の人物であり、俳諧、絵画、片歌、国文学、読売作家などマルチに活躍しました。恥ずかしながら、私は弘前に来てから初めて知りました。まだまだ知られていない建部綾足ですが、その生涯も、彼の生み出した作品も、見どころ満載です！ここでは本展で取り上げた、建部綾足の簡単な人物紹介と、目玉作品をご紹介します。

建部綾足(1719-1774)は、弘前藩家老・喜多村政方の次男として、享保4年(1719)に江戸で生まれました。弘前で育ちますが、元文3年(1738)20歳の時に兄嫁・そねとの許されぬ恋が原因で出奔します。喜多村家は藩主に重用された名家であり、このスキャンダルは藩の公式記録である弘前藩庁日記『国日記』にも記されました。日本各地を巡った綾足ですが、後ろめたさもあつたのか、生涯で故郷・津軽に帰ることはありませんでした。

さて綾足は出奔後、俳諧で身を立てます。浅草を拠点に弟子を抱え、数多くの俳書を出版しました。画業では、2度の長崎遊学で花鳥画、山

水画などを学びます。また、魚介を描いた海錯図や花鳥画などは、伸びやかな筆遣いで表情豊かに描かれています。そして、人生の終盤からは、片歌、古典研究、読本(小説)などを熱心に取り組み、『本朝水許伝』など多くの著作を生み出しました。

このように綾足は多岐にわたる分野で活躍しました。では、綾足の作品から、「魚」に注目してご紹介します。



▲海錯図屏風 左隻

(青森県立図書館所蔵)

海の魚介類を伸びやかに大きく描いた「海錯図屏風」(青森県立図書館所蔵)は、綾足の代表作の一つです。本展ポスターにも掲載しております。サメ、エイ、タコ、エビ、アンコウなどが、ユーモラスな表情で描かれています。きっちり丁寧というよりは、どこか「ゆるい」魅力がある作品で、見ている人をおおらかな気分にさせてくれます。

また綾足は、『海錯図』という画譜も出版しており、こちらも可愛い魚たちが計30種掲載されています。

博物館公式
instagram



最新の博物館情報、発信中！



博物館公式
Facebook

この「シュモクザメ」は私もお気に入り
りで、本展では大きくパネル化して
展示中です。



▲『海錯図』(当館所蔵)より 「シュモクザメ」

画業の他にも俳諧、文学、綾足が
弘前に残した影響などを紹介して
おりますので、この機会にぜひご観覧
いただき、建部綾足を知っていた
ければ幸いです。

(担当学芸員 高橋)

■特別企画展2「魯山人の宇宙-魂 を剥ぐ美が欲しい-」を終えて

お陰様をもちまして、特別企画展
2「魯山人の宇宙」も盛況のうちに会
期を終えることができました。この
場をもちまして、ご来館された皆様
に感謝申し上げます。

観覧者様からは、「魯山人が生み
出した多種多様の器に感動した」「色
彩の鮮やかさや、ポスター・チラシ
で想像していたのとは全くちがった
スケール感に圧倒された」などのご
感想をいただきました。やはり写真
でイメージするのと、実物を目の前
にするのでは、受け取る感覚が全く
異なるものであり、それこそが博物
館を訪れる魅力です。

会期中には、8のつく日に行う好
評のミニ解説にも、毎回多くのお客

様にお集まりいただき、魯山人作品
の素晴らしさだけでなく、その人柄
や生き様についても触れ、皆様関心
をもってお聞きくださいました。15
分程度の短い時間ですが、お客様と
直接お話しすることで、私たちも勉
強になります。これからも「8の日解
説」をどうぞよろしくお願いいたします。

(担当学芸員 三國)

■魯山人展記念講演会「北大路魯山 人について」を開催しました

11月2日(土)、記念講演会「北大
路魯山人について」を開催しました。
講師は千葉市美術館上席学芸員の
藁科英也さんです。

藁科さんは自ら魯山人研究をさ
れているほか、美術館での企画展も
開催された経験があり、その際のお
話などもいただきました。そのほか、
陶芸そのもののお話から、魯山人の
生涯や棟方志功など著名人と魯山
人のかかわりなどまで詳しくご講演
いただきました。

当日の予約枠は満員御礼、多くの
お客様にご参加いただきました。ア
ンケートも好評で、普段は弘前で味
わえない作家や作品のお話が聞け
る貴重な機会を皆様に楽しんでい
ただけたようでした。



▲記念講演会の実施風景

(担当学芸員 工藤)

■博物館後援会視察を行いました

11月23日(土・祝)に弘前市立博
物館後援会の行事として、市内寺院
の視察研修を行いました。題して
「弘前の宝を歩いて観よう！」…昨
年は最勝院の住職様の解説付きで
五重塔の視察を行いました。あい
にくの吹雪に見舞われ、日程の途中
で近隣寺院を歩いて回る計画が中
止となってしまいました。

今年はそのリベンジとして計画し
ました。おかげさまで大雪はどの
にか免れ、改めて最勝院・袋宮寺・報恩
寺・西福寺・貞昌寺の貴重な仏像や
建築などを拝観できました。ご協力
いただいた各寺院とご参加いた
だいた皆様、ありがとうございます
！今後とも博物館の応援、よろし
くお願いいたします。

(館長補佐 川村)

■NEW 博物館グッズのお知らせ



▲いのっちシールが仲間入りしまし
た！お求めは博物館受付まで。

■2月までの休館日のお知らせ

12月29日(日)～1月3日(金)
1月20日(月)
2月3日(月)～2月21日(金)

上記期間は博物館の利用ができま
せん。あらかじめご了承ください。